

【詳細】

後ろ向き研究 情報公開

1. 承認番号	7-5号
2. 課題名	オビヌツズマブ投与時における infusion reaction 発現に影響を与えるリスク因子に関する研究
3. 研究の期間	盛岡赤十字病院研究倫理審査委員会承認後 ~ 1年間 予定
4. 研究の概要	<p>【目的】 オビヌツズマブは有害事象として、Infusion Reaction（以下、IR）を高頻度に発現する。IRは、発熱、悪寒などの軽微なものから血圧低下、呼吸困難など重篤化することも報告されており、リスク因子を評価する意義は大きい。しかしながら、腫瘍量の多い患者でIR発現頻度に影響があるとされているが、その報告は少ない。本研究では、オビヌツズマブ投与患者のIR発現に影響を与えるリスク因子を探索することにより、投与前からIR発現リスクについて評価を行い、迅速かつ適切な対応により重篤化を防ぐことができる。</p> <p>【方法】 電子カルテを用いた後ろ向き調査</p> <p>① 対象患者 2021年4月1日から2025年3月31日までに、濾胞性リンパ腫と診断され、オビヌツズマブの初回投与を行った患者を対象とする。</p> <p>② 患者情報および臨床検査値 紹介状または入院中の情報を採用する。</p>
5. 利益相反	資金援助は受けておらず、利益関係はない。
6. 連絡先	盛岡赤十字病院 薬剤部 丹代 恭太 TEL019-637-3111（内線414）